

2年生西大寺中学校出身の守田望くんは、夏休みにも自転車で登校して作品に取り組んでいます。

完成したばかりの「トマッタ…ジカン…」で、ひとつひとつ精密に作り込まれた時計の歯車と画面手前にひるがるガラスの破片との対比が見事なバランス感覚を示しています。

どこまでも果てしなく描き込んでしまうタイプの人は、ぜひ参考にしましょう。画面全体をびっしり細かく描き込んでしまうと、観る人はどこから観ればよいのかわからなくなってしまいますよ。

守田くんは県外の大学見学にも積極的に参加しています。時々眠そうですが、本当に実力があります。次回作も期待していますよ。



守田くん



「りすベィびィ」  
作・岩井菜津美



多武保さん

3年生の多武保真央さん、久々のB1大作「afternoontea」です。

実は多武保さんには何枚もの作りかけのすばらしい大作があります。

どれも名作揃いだと思うのですが、本人は全然納得できない！というのです。

隠している作品も早く見たいです。

ティーカップや机はスラスラと完成したようなのですが、主役のバラの花には、かなり手こずっていたようでした。

受験で忙しい夏休みですが、作品もがんばってくださいね。

同じく3年生山根一徳くんの作品「mystery」です。熱心に活動していた演劇部を引退し、ようやくCGの大作に取り組む時間が取れるようになりました。

画面の中の生物たちは、かなり早い時期に出揃っていたのですが、そこからが実に遠い道のりでした。

CGは、手描きの絵画に比べて時間がかからない、すぐできる、と思っている人がたいへん多いです。

作品展でも、「手で描いてないからけしからん。」とCGだけがお叱りを受けることもたびたびです。

実際にはCGの作品にもすごく時間がかかっています。

山根くんの作品だって、クラゲやクリオネの配置を調整する仕上げの段階だけで、2週間以上毎日最終下校時刻まで残ってやり直しを繰り返しました。

もちろん、CGならではの便利さは見逃さずにはちゃんと利用しています。

背景の青いうねうねは、ほとんど最終日になって付け加えました。手描きでは、そんな勝手なことはできません。



山根くん

